

桜荘 SGD s の取り組み



SGD s (Sustainable Development Goals) とは・・・「持続可能な開発目標」

2015年9月の国連サミットにて、地球規模の経済・環境・社会・人権など様々な問題を解決するために生まれた目標です。「誰一人取り残さない (leave no one behind)」をスローガンに2030年までに貧困を終わらせ、いかなる立場の人もみんな平等な機会を与えられ、地球環境を壊すことなく安心して生活できる地球を築くために達成すべき17のゴールと169のターゲットが作られた。それが「SGD s 2030 アジェンダ」です。

桜荘は2021年4月より施設として「SGD s 社会貢献委員会」を発足し、この国際的な目標に取り組む事に致しました。

以前より行っていた社会貢献の延長線上の活動と考え、また少しでも出来ることを行っていく事がSGD sの趣旨に合う事とわかったからです。

桜荘だけでは難しいことは、三芳町・埼玉県のお力添え・ご指導頂きながら県のSGDs分科会の参加をさせて頂いております。「誰もがその人らしく生きられる」そんな施設・社会となるように小さくても継続的な地域に根付く活動に貢献していきたいと考えております。



1. 貧困をなくそう

一昨年より、三芳町社協よりのご相談を受け、生活困窮者の子供さんの居るご家庭に夕食のお弁当を作り、各家庭に配達を行っております。

「食事が取れず、学校に行っても空腹のため勉強が頭に入らない」など家庭の状況で子供たちの未来を、夢を描けない社会を作らないように貧困家庭への取り組みのお手伝いを行っていきたい。

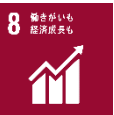


3. すべての人に健康と福祉を

施設に入居・ご利用されている皆様が笑顔に包まれその人らしく、また安心して生活ができる施設を目指しております。

昨年度からのコロナウイルス感染の為、ご家族面会・ボランティア団体の介入・行事の縮小となってしまいましたが、その中でも出来ることを見つけ行ってまいりました。

施設だけでなく、地域の活動に参加し福祉の活動を行っていきたい。



8. 働きがいも経済成長も

埼玉県多様な働き方にてプラチナランク認定を頂きました。

いろいろな働き方を尊重し、働きやすい職場づくり・学ぶを応援しています。

OJT/OFFJT を活用し職員の教育を行うことで、プロフェッショナルとしての自信を持つ事で働きがいを感じて頂けるように職員の教育に力を入れております。



11. 住み続けられるまちづくりを

地域活性化の為に三芳町生活支援体制整備推進協議体に参加し住民が住みやすくなる為のささえ隊活動を行っている。また、三芳町福祉施設連絡協議会に参加し、施設間の協力のもと社会貢献を目指し活動を行っています。

地域住民を中心としている地区社協に参加し、地域の問題点・地域活性化活動のお手伝いが出来る様に力を入れて活動を行っています。